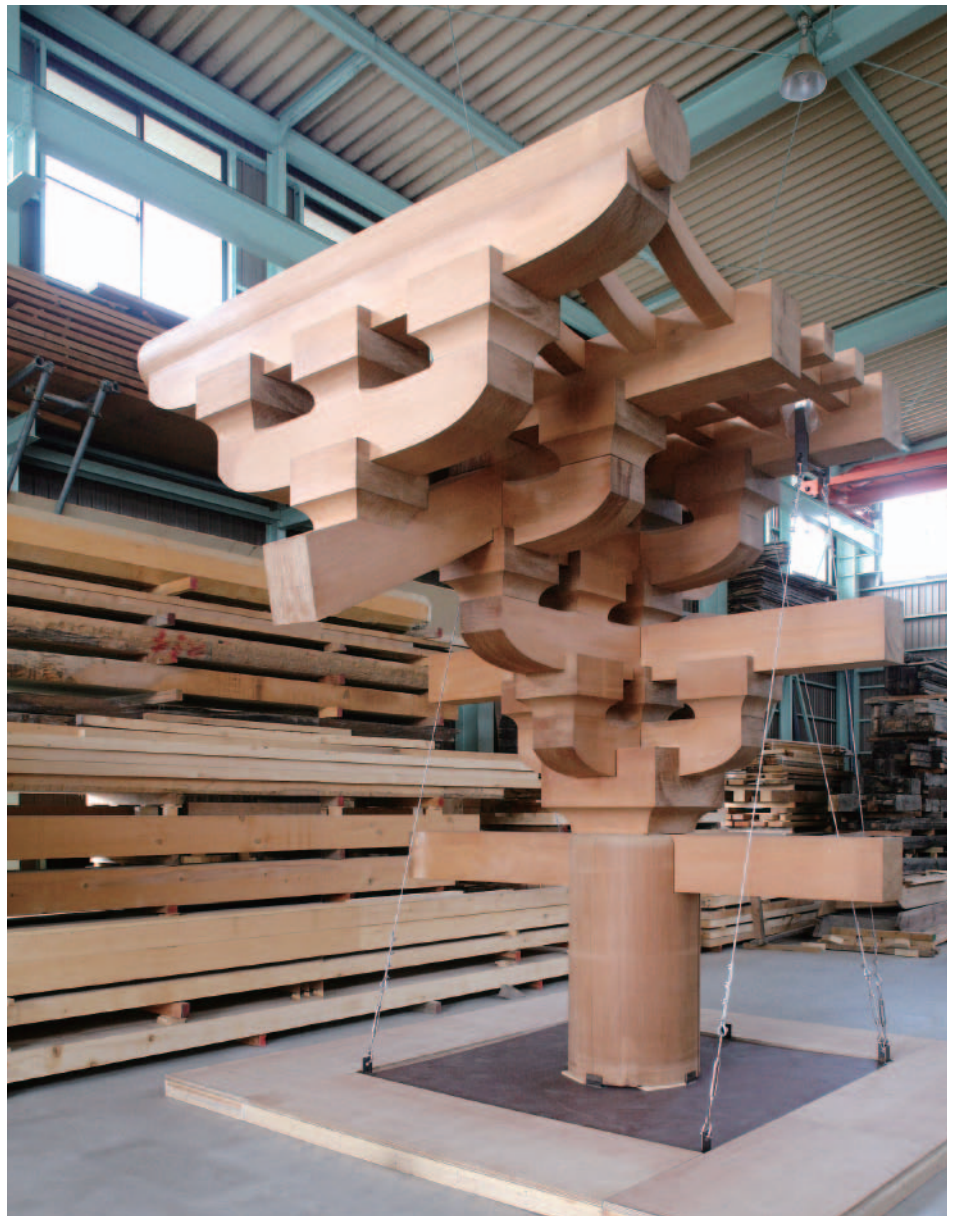


CONTENTS

- EXHIBITION 巡回展
「棟梁—堂宮大工の世界—」
- EVENT 技と心 講演会
夏休み子ども体験教室
- EXHIBITION テーマ展示
「関野聖雲の道具」
- SEMINAR 「技と心セミナー」のご案内



巡回展シンボル展示 木組み

唐招提寺金堂斗拱 原寸大模型 (国立科学博物館蔵)

今回の目玉展示は、高さ3mを超える唐招提寺金堂斗拱の原寸大模型です。巨大な木材をあつかう堂宮大工の特性を理解していただくために国立科学博物館から特別出品していただいたものです。製作は西岡常一棟梁指導のもと鶴工舎で行われました(1986年)。平城遷都1300年の今年にふさわしい展示物でもあります。

仮組した唐招提寺金堂斗拱 原寸大模型
撮影/畑拓

巡回展「棟梁—堂宮大工の世界—」を開催します

開館25周年記念巡回展を6月より、東京・札幌・神戸・名古屋で順次開催いたします。仏教伝来と供に寺院造営のため、技術集団が道具を携えて、中国や朝鮮半島から我が国に渡ってきました。その古代の工人が手掛けた建物には、普遍の魂が込められています。その魂を読み取り、後世に技術や技能を伝えるのが堂宮大工です。その中において棟梁は、人を束ね、技に秀で、建築への情熱と知恵、そして知識を有する者でなければなりません。その堂宮大工の技と道具を展示しております。少しでも工人の技術と知識を感じ取って頂ければ幸いです。ご来場を心よりお待ちしております。今後とも、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

EXHIBITION

竹中大工道具館開館25周年記念巡回展

棟梁

堂宮大工の世界

Ⅰ時代を超えて受け継ぐもの

きた鍛え抜かれた技と心をもって職人集団を束ね、数百年の風雪に耐える寺院や神社を築きあげる堂宮の大工棟梁。千年の伝統を受け継ぎ、難事業に信念を持って立ち向かうその姿は、変動の激しい現代社会において、より魅力的に映ります。本展では堂宮大工棟梁の仕事と人物像を迫力の模型や貴重な遺品、映像などで紹介します。また開館25周年記念事業として、下記の4会場を巡回いたします。

◎巡回展スケジュール

東京会場 6月16日(水)～7月23日(金)
ギャラリー・エー・クワッド(竹中工務店東京本店1F)
地下鉄「東陽町駅」徒歩3分
開館時間 10:00-18:00(最終日17:00まで)
休館日 日曜・祝日
主催 ギャラリー・エー・クワッド

札幌会場 7月30日(金)～8月29日(日)
JRタワー・プラニスホール
開館時間 10:00-19:00(入場は18:30まで)
休館日 無休
主催 札幌駅総合開発株式会社

神戸会場 10月2日(土)～11月14日(日)
竹中大工道具館
開館時間 9:30-16:30(入場は16:00まで)
休館日 月曜(祝日の場合は翌日)
主催 財団法人竹中大工道具館

名古屋会場 11月20日(土)～12月28日(火)
トヨタテクノミュージアム産業技術記念館
開館時間 9:30-17:00(入場は16:30まで)
休館日 月曜(祝日の場合は翌日)
主催 トヨタテクノミュージアム産業技術記念館、中日新聞社

後援 [全会場] 社団法人日本建築学会、社団法人日本建築士会連合会、社団法人建築業協会、社団法人平城遷都1300年記念事業協会〔東京会場〕江東区教育委員会〔札幌会場〕北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、函館市、北海道新聞社

協力 文化庁、独立行政法人国立科学博物館、律宗総本山唐招提寺、株式会社鶴工舎

協賛 [札幌会場] JR北海道

企画 財団法人 竹中大工道具館

修業 —棟梁への道—

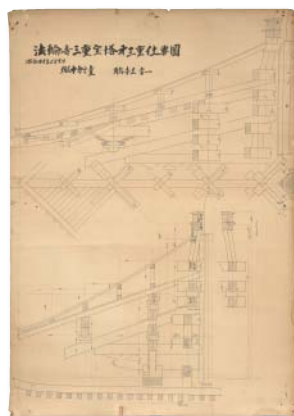
棟梁のもとに入門した若者たちがどのような努力をして成長していくのかを、刃物研ぎに使う道具、上手に仕上げた削り屑、棟梁が修行中の弟子に送った手紙などで紹介します。



西岡常一が弟子・小川三夫へ送った手紙(個人蔵)

設計 —計画を練る—

今日では大工が設計をすることは少なくなっていますが、昔は設計から施工まで、棟梁がすべての仕事を行っていました。ここでは、今日では貴重な存在になった手書きの技術ノートや図面を展示します。



法輪寺三重宝塔第三重仕事図(縮尺1/10、西岡常一作成)〈個人蔵〉

すみかけ 墨掛 —棟梁の美意識—

墨掛は加工の目安となる線を引く工程です。なかでも大事なのは屋根の反りなどの緩やかな曲線です。それを正確に加工するための様々な道具(型板)や図面(原寸図5.4m×2.7m、板図5点)を一面に展示します。

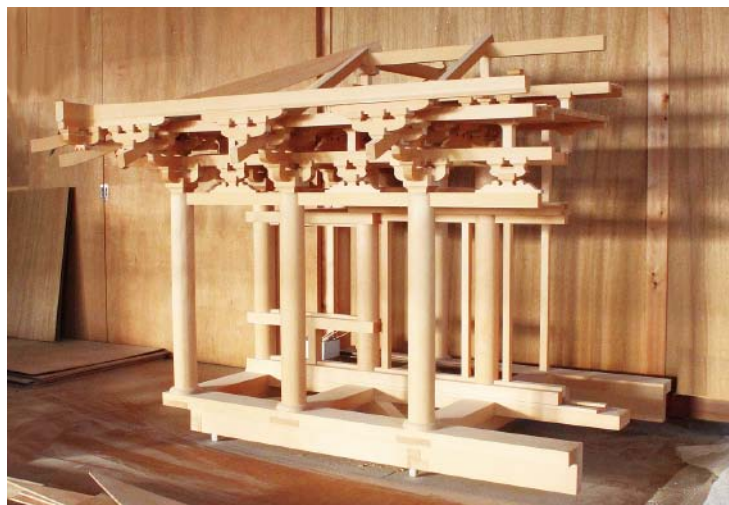


曲線を形作るための型板(鶴工舎製作)

刻み

—切れる刃物と工人の想い—

ミリ単位の精度が求められる堂や塔などの建築では、切れる刃物で鋭利に加工することが大事です。ここでは作業所の中で行われていて普段は見ることのできない刻みの工程を、加工中の丸柱や桁の展示を通して解説します。
また部材の納まりを確かめるために製作する大型の部分模型（縮尺1/10）を展示します。



部材の納まりを確かめるための部分模型（縮尺1/10、鶴工舎製作）



堂宮大工棟梁・西岡常一愛用の道具〈個人蔵〉

式祭

—祈りを捧げる—

建築工事の節目には地鎮祭や上棟式などの式祭がとりおこなわれますが、この行事を取り仕切るのも棟梁の仕事のひとつです。ここでは上棟式などに使用する衣装や専用の道具を紹介します。



上棟式などで用いる儀式道具〈竹中木工道具館蔵〉

ごいたっしゃ 五意達者

江戸幕府の大棟梁平内政信へいのうちまさのぶが家伝書『匠明』にて示した棟梁に必要な5つの技（五意）「式尺の墨かね」「算合」「手仕事」「絵様」「彫物」について解説します。激動の桃山時代を生きた棟梁の理想像にせまります。

堂宮大工の歴史

古代から近代にいたるまでの堂宮大工の歴史についてパネルにて解説します。あわせて棟梁と関係の深い古代・中世・近世の墨壺や曲尺を展示します。

シアターコーナー —映像で知る棟梁の技と心—

棟梁の技や心は形として残りにくいものです。そこで、現代を代表する堂宮大工・小川三夫氏と鶴工舎の仕事を新たに撮影した映像で紹介いたします。そのほか、唐招提寺金堂・大修理ならびに平城宮大極殿復原工事の記録映像も上映します。

巡回展開催を記念して、堂宮大工棟梁によるトークイベントや講演会、堂宮大工による鉋削りの体験など、特別なイベントを用意しました。また会場内では展覧会図録(ブックレット)や関連図書の販売を行います。※イベントの日時・内容は変更になることがあります。最新情報はホームページでご確認ください

札幌会場

JRタワープラニスホール 札幌市中央区北5条西2丁目 札幌エスタ11階 Tel.011-213-2776



記念講演会

五稜郭に蘇った箱館奉行所 —復元はどのようにして進められたか?—

講師 木下寿之(株式会社文化財保存計画協会 上席主任研究員)、塚田芳久(特別史跡五稜郭跡内箱館奉行所庁舎復元工事作業所長)

日時 8月8日(日) 14:00-16:00

場所 JRタワーオフィスプラザサッポロ 9F会議室

定員 先着200名(入場無料・申込不要)

トークイベント

不揃いの木を組む

講師 小川三夫(鶴工舎前舎主)

日時 8月22日(日) 14:00-16:00

場所 JRタワーオフィスプラザサッポロ 9F会議室

定員 先着200名(入場無料・申込不要)

実演・体験教室

堂宮大工の技

講師 北村智則(当館技能員)

日時 7月31日(土)、8月28日(土) 各日とも13:30-15:00

場所 展示会場内特設スペース

内容 台鉋削り、ヤリガンナ削り、墨打ち、木の香り体験など

定員 先着30名(参加無料・申込不要)

神戸会場

竹中大工道具館 神戸市中央区中山手通4-18-25 Tel.078-242-0216 ※会場の地図については裏面をご参照下さい。

※この他に期間中、「技と心」講演会、セミナーにて関連したイベントを開催します。(裏面をご参照下さい)

見学会 西岡常一棟梁の仕事を知る

内容 西岡棟梁唯一の内弟子である小川棟梁とともに法隆寺・法輪寺・薬師寺を巡ります。

解説 小川三夫(鶴工舎前舎主)

日時 10月9日(土) 9:00-18:00 (集合・解散地:奈良)

定員 30名(事前申込制)

参加費 大人4500円(バス代・拝観料・旅行保険料込、昼食代別)

申込締切日 2010年9月10日(金) 消印有効

申込方法 下記の見学会申込方法をご参照ください。

実演・体験教室 堂宮大工の技

内容 台鉋削り、ヤリガンナ削り、木の香り体験など

講師 北村智則(当館技能員)

日時 10月17日(日)、10月31日(日) 各日とも14:00-16:00の間、適宜開催

場所 竹中大工道具館地階手入れ室

参加費 参加無料・申込不要

ミュージアムトーク

解説 担当研究員

日時 10月3日(日)、10月23日(土)、11月13日(土) 各日とも14:00-15:00

場所 竹中大工道具館1階

参加費 参加無料・申込不要

名古屋会場

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館 特別展示室 名古屋市西区則武新町4-1-35 Tel.052-551-6115



名鉄「栄生駅」徒歩3分
市バス「産業技術記念館」徒歩3分
地下鉄「亀島駅」徒歩10分

トークイベント 不揃いの木を組む

講師 小川三夫(鶴工舎前舎主)

日時 11月28日(日) 14:00-16:00

場所 トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館ホールA

定員 先着150名(入場無料・申込不要)

見学会 尾張三河の大工棟梁とその作品

内容 岡崎・名古屋の大工棟梁ゆかりの建築を巡ります。

解説 麓和善(名古屋工業大学大学院教授)

日時 12月11日(土) 9:00-17:00(予定)

定員 30名(事前申込制)

参加費 未定

申込受付 2010年9月1日(水)～11月12日(金) 消印有効

申込方法 下記の見学会申込方法をご参照ください。

※詳細は9月頃ホームページにて公表の予定です。

記念講演会 尾張三河の大工棟梁

講師 麓和善(名古屋工業大学大学院教授)

日時 12月12日(日) 13:30-15:00

場所 トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館ホールA

定員 先着150名(入場無料・申込不要)

実演・体験教室 堂宮大工の技

内容 台鉋削り、ヤリガンナ削り、墨打ち、木の香り体験など

講師 北村智則(当館技能員)

日時 11月21日(日)、12月5日(日)、12月19日(日) 各日とも13:30-15:00

場所 展示会場内特設コーナー

定員 先着20名(参加無料・申込不要)

◎見学会申込方法 ウェブメールまたは往復ハガキに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブメール 当館ホームページ(<http://dougukan.jp>)「巡回展記念見学会」のページよりお申し込みください。

ハガキ

【往信用裏面】 イベント名、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、性別、生年月日
【返信用表面】 宛先にご自身の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。
※裏面は参加可否等の連絡を印刷しますので、記入しないでください。
【お申し込み先】 〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25 竹中大工道具館「巡回展見学会」係

※ハガキまたはメール1通につき1名様だけの申し込みとさせていただきます。※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。※ご参加の可否や当日の集合場所などの詳細は締切日以降にご連絡いたします。

EVENT



「技と心」講演会のご案内

ふぞろ 不揃いの木を組む

法隆寺五重塔や薬師寺三重塔（東塔）は、1300年の時を経た今でも大地の上に力強く立ち、美しい姿を見せています。しかしその内部は、不揃いで癖のある木が縦横に組み合わされ、昔の工人が木と格闘した跡がいたるところに残っています。不揃いな木をうまく組み合わせることにより、強い建築が出来ます。人も同様で、不揃いの中で育て、その癖をうまく組み合わせることにより大きな成果が生まれます。小川三夫棟梁に、その真髓をお話いただきます。

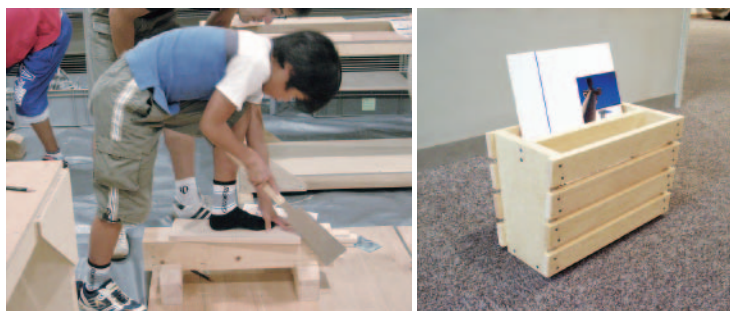
講師プロフィール／1947年栃木県生まれ。高校生の時、修学旅行で見た法隆寺に感激し、堂宮大工を志す。21歳で西岡常一棟梁の唯一の内弟子となる。法輪寺三重塔、薬師寺西塔・金堂の再建で副棟梁を務める。1977年独自の徒弟制度による寺社建築会社「鶴工舎」を設立。2003年「現代の名工」に選ばれる。2009年黄綬褒章 受賞。『不揃いの木を組む』など、著書多数。

日時	2010年10月10日(日) 14:00-16:30
会場	ラッセホール大会場 (当館より徒歩1分)
講師	小川三夫(鶴工舎 前舎主)
総合司会	太田邦夫 (東洋大学・ものづくり大学名誉教授)
映画上映	「棟梁一堂宮大工の世界-」(23分)
入場料	無料
定員	先着250名



夏休み子ども体験教室

大工の技を見学し、大工道具を使って工作をしてみましょう。



日時	2010年8月21日(土) 13:30-16:00
参加費	無料(保護者のみ別途入館料が必要になります)
工作内容	マガジンラック
場所	竹中大工道具館地階多目的ホール
参加対象	小学4年生～中学3年生(小学生の方は必ず保護者をご同伴ください)
人数	15名 定員を超えた場合は抽選となります。 (参加通知は締切日以降にお送りいたします)
応募締切	2010年8月2日(月) 消印有効
応募方法	ウェブメールまたは往復ハガキに下記事項をご記入の上お申し込みください。ウェブメールは当館ホームページ(http://dougukan.jp)「体験教室」のページよりお申し込みください。

【往信用裏面】お子様の氏名(フリガナ)、お子様の年齢(生年月日)、郵便番号、住所、電話番号【返信用表面】宛先にお子様の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。※裏面は参加証を印刷しますので、無記入のこと。【お申し込み先】〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-18-25 竹中大工道具館「夏休み子ども体験教室」係

EXHIBITION

テーマ展示

彫刻家 関野聖雲の道具 開催中

16才にして高村光雲の弟子となった関野聖雲(1889～1947)は、彫刻家として、また教育者として明治以降の木彫文化の礎を築いた人物です。彫刻家の中でも特に道具好きとして知られる聖雲の道具には、あらゆる木彫り手法を実現するためのさまざまな工夫が見られます。本展示では聖雲の道具約40点を展示します。彫刻家をテーマとした展示は大工道具館としては初の試み。ぜひご覧ください。

期間 2010年3月21日(日)～9月26日(日)

場所 竹中大工道具館1F テーマ展示コーナー



鑿・彫刻刀(左より1,7点目 当館蔵、その他 個人蔵)

SEMINAR

「技と心セミナー」のご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料(入館料は別途必要)

開催時間 13:30~15:00(13:00開場)

会場 竹中大工道具館
※セミナー[44]のみ神戸市教育会館

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP (<http://dougukan.jp>)「技と心」セミナーページの申込みフォームをご利用下さい。

▷ホームページからはご本人様1名ならびに同伴者1名に限らせていただきます。

▷携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

[往信]

①セミナー番号②お名前(フリガナ) ※参加者全員
③郵便番号・住所④電話番号

[返信]

あて先にご自身(代表者)の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。裏面は未記入のこと。往復ハガキ1枚につき、4名までお申込みいただけます。

▷応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
▷入場案内ハガキ・メールは締切日以降に発送いたします。
▷締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[お申込み先]

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

竹中大工道具館「技と心」セミナー係

[43] 2010年9月18日(土)(締切り2010年9月3日)

茅葺きの歴史を探る

講師:黒坂 貴裕(奈良文化財研究所 研究員)

日本の農村の原風景と言えば、茅葺屋根は欠かすことが出来ません。しかし、先史時代から連続と続いてきた茅葺きも、現代社会では衰退しつつあります。また、葺き替えられることが常の茅葺屋根は、古い形式や技術が分からなくなってしまいます。今回は、各地に残る茅葺屋根や史料から、茅葺きの歴史を可能な限り遡ってみることにします。

[44] 2010年11月6日(土)(締切り2010年10月22日)

京大工棟梁木子棟齋と若狭興道寺村

講師:吉田 純一(福井工業大学 教授)

幕末から明治期に活躍した京の大工棟梁、木子棟齋は、若狭国興道寺村の出身で、14歳の時に京へ出て木子棟躬に弟子入り、その後、棟躬の養子となって木子家を継承しましたが、棟齋は京にあって出身地興道寺村と強いつながりを持っていました。その様子を伺わせる家々も今も興道寺地区にあり、棟齋に関わる数々の遺品も大切に守り伝えられています。興道寺地区でのこれらの家々と棟齋とのつながりを紹介しながら、大工棟梁棟齋の人物像を探ります。

[45] 2011年1月15日(土)(締切り2010年12月20日)

大工なしの家づくり — インドネシア、スンバの家を建てる —

講師:西山マルセーロ(当館 主任研究員)

家は大工がつくるもの。いつからそうなったのでしょうか。今でも村人の力だけですべてを行っているところがあります。道具鍛冶にはじまり、全部の建設資材を生活圏の中で調達します。山刀、斧、チョウナだけで工事は進み、その都度儀礼がなされます。スンバの人にとって家とは何なのでしょう。家づくりの原点を考えます。

[46] 2011年3月26日(土)(締切り2011年3月11日)

アンコール遺跡を修復する(仮)

講師:下田 一太(日本国政府アンコール遺跡救済チーム技術顧問)

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30~16:30(入場は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・
年末年始(12月26日~1月7日)

入館料

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方	無料	
65歳以上の方	100円	

※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

交通案内

▷JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分
▷JR・阪神「元町駅」徒歩10分
▷地下鉄「県庁前駅」徒歩5分
▷新幹線「新神戸駅」タクシー10分
駐車場4台(普通車)あります。

連絡先

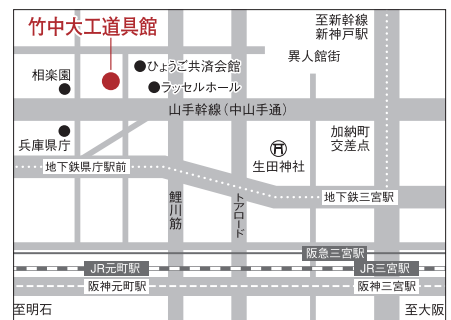
〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

TEL 078-242-0216

FAX 078-241-4713

URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※イベント応募ハガキ及びウェブメールにご記入いただいた個人情報厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい。

竹中大工道具館NEWS第23号

2010年7月6日発行

編集・発行:財団法人竹中大工道具館

印刷:神戸新聞総合印刷

本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。

©2010 Takenaka Carpentry Tools Museum

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



財団法人竹中大工道具館

開館25周年を記念して新しいロゴマークになりました